

2011年8月23日

=====化学品部会=====

部会長：大澤 巖 (ダイワートブラジル)

A. 2011年上期の回顧（対前年上期比）と下期の展望（対上期比）～総括～

化学品部会会員数は、54社ですが、アンケート依頼は38社に対して行われ、16社より、内1会員より3分野につき回答を頂きましたので13分野、18回答を得ました。筆記具分野は2会員より、農薬原体分野は3会員より、商社分野からは、2会員より回答を得ました。化学品部会には、多岐に亘る分野の会員が加入されておりますので、素材産業分野、消費物資産業分野、商社分野に大別致しました。素材産業分野には、架橋ポリオレフィン発泡体（スポンジを連想ください）、樹脂用着色材、接着剤、農薬原体、生松脂より精製されるロジン・テレピン油の5分野・7回答が含まれ、消費物資産業分野には、一般医薬品、家庭防疫薬、化粧品、飼料添加物、写真・デジタルカメラ、種子、接着剤、農薬製剤、筆記具（2会員）の9分野・10回答が含まれます。接着剤分野と農薬分野は、両分野に含まれています。そして、商社・化学品分野2回答です。

2011年上期の売上につきましては、18回答中、増収15回答、不変3回答、減収0回答で、増収と不変を合わせますと100%、利益に関しては、増益13回答、不変0回答、減益5回答であり、増益と不変を合わせますと72%となります。2011年下期の展望でも売上に関しましては、増収予測が12回答、不変予測が4回答、減収予測が2回答で、増収と不変を合わせますと89%、利益に関しましては、増益予測が14回答、不変予測が2回答、減益予測が2回答で、増益と不変予測を合わせますと89%となります。

大別分野では、素材産業分野7回答で、2011年上期売上では、増収6回答、不変1回答、減収回答ゼロ、増収と不変回答合わせて100%、利益では、増益4回答、不変0回答、減益3回答、増益と不変回答合わせますと57%、2011年の下期展望におきましては、売上予測では、増収予測4回答、不変予測1回答、減収予測2回答で、増収と不変予測合わせて71%、利益予測では、増益予測6回答、不変予測1回答、減益予測0回答で、増益と不変予測合わせて100%となります。

消費物資産業分野10回答においては、2011年上期売上では、増収8回答、不変2回答、減収0回答で、増収と不変回答合わせて100%、利益では、増益8回答、不変ゼロ回答、減益2回答となり、増益と不変予測合わせて80%となります。2011年下期の展望では、売上予測で、増収予測6回答、不変予測4

回答、減収予測ゼロ回答で、増収と不変回答合わせて 100%、利益予測では、増益予測 6 回答、不変予測 2 回答、減益予測 2 回答で、増益と不変予測合わせると 80%となります。

商社分野からは 2 回答得られましたが、2011 年上期では、増収 1 回答、不変 1 回答、利益では、増益 1 回答、減益 1 回答と分かれました。2011 年下期展望では、売上げ、利益ともに、2 会員とも、増収・増益予測です。

総括として、2011 年上期は、消費物資産業、素材産業ともに、2010 年上期よりも好調に推移している会員が多く、また下期も好調さを持続できると見ている会員が多数です。商社分野は、上期は好調、不調に分かれましたが、下期は、好調予測です。

次に、各分野からの回答を駆け足でご紹介致します。

B. 分野別 2011 年上期の回顧（対前年上期比）と 2011 年下期の展望（対上期比）

1. 写真・デジタルカメラ

①2011 年上期の回顧

増収、増益でした。プラス要因は、医療費支出増加による市場の拡大とシェアアップによる医療事業の伸張、また、デジタルカメラ市場拡大に伴うデジタルカメラ販売の増加です。マイナス要因は、競争激化による販売価格のダウンです。

②2011 年下期の展望

増収、増益予測です。プラス要因は、写真関連及びデジタルカメラ製品の需要期である事から販売増が期待される事と医療事業の伸張です。マイナス要因は、競争激化による販売価格ダウンと原材料の価格高騰によるコストアップです。

2. 筆記具

①2011 年上期の回顧

2 会員から回答を得ましたが、両社ともに増収、増益でした。プラス要因は、雇用情勢の改善、教育投資の増加、予想以上の年初の需要高、リアル高による原価安、マイナス要因は、景気の減速傾向と労務費のアップです。

②2011 年下期の展望

1 会員が増収、1 会員が不変の予測です。プラス要因は、プロモーション活動による売上げ増（下期需要高の業界傾向）、継続的なリアル高です。マイナス要因は、景気の減速と労務費のアップです。

3. 化粧品

①2011 年上期の回顧

増収、増益でした。プラス要因は、リアル高による原価安、欧米系競合他社にない製品分野での売上げの伸張、マイナス要因は、ドル安で、海外免税店での

購入者が増加、高級化粧品のお客数が減った事です。

②2011年下期の展望

増収、増益予測ですが、プラス要因は、年末商戦による売上げ増加、マイナス要因は、上期と同じくドル安の影響による高級化粧品の顧客減少です。

4. 一般用医薬品（外用薬）

①2011年上期の回顧

増収、増益でした。プラス要因は、市場の拡大/シェアの拡大、各州で行った販促プロモーション活動の効果、マイナス要因は、厚生省による新製品への審査・承認の遅れです。

②2011年下期の展望

増収、増益予測で、プラス要因は、上期好調さの継続、マイナス要因は、上期と同じく厚生省による新製品への審査・承認の遅れです。

5. 家庭防疫薬

①2011年上期の回顧

増収、増益で、プラス要因は、新規顧客の開拓と国内生産の増加です。マイナス要因は、ジェネリック品との競合です。

②2011年下期の展望

売上、利益とも横ばいの予測です。プラス要因は、国内生産の増加、マイナス要因は、顧客在庫の増加、気候不順による販売減、ジェネリック品との競合継続です。

6 a. 農薬原体販売

①2011年上期の回顧

3会員より回答を得ましたが、3会員ともに、増収、増益でした。プラス要因は、農作物国際価格の高騰、農産物作付面積の増加（特に綿）、販売品目の増加です。マイナス要因は、事務所賃料、人件費等の経費アップ、ジェネリック品や中国製違法品との競合、リアル高による輸出作物の利益低下です。

②2011年下期の展望

3会員ともに増収、増益予測です。プラス要因は、農作物価格高値堅調、農産物作付面積の増加（特に綿）、綿向け販売の堅調さ、販売時期の下期集中です。マイナス要因は、リアル高の急激な進行、米を初めとする一部農産物価格の低下、中国製違法品との競合、リアル高による輸出作物の利益低下です。

6b. 農薬製剤販売

①2011年上期の回顧

増収、増益で、プラス要因は、農作物国際価格の高騰、農薬市場の拡大、綿向け取引の拡大、財務収益の増加です。マイナス要因は、インフレによる経費増、人件費増です。

②2011年下期の展望

増収、増益予測で、プラス要因は、農薬使用シーズンピークが下期にある事、

農作物国際価格の高騰継続、農薬市場の拡大、マイナス要因は、為替レートへの懸念、インフレによる経費、人件費の増加、綿花先物価格の動向不安です。

7. 種子（野菜・花）

①2011年上期の回顧

増収、増益でした。プラス要因は、新商材の好調な販売、既存商品の市場シェアアップ、高利益商品の販売増加です。マイナス要因は、主力商品の品薄、新商品の品質クレームです。

②2011年下期の展望

増収、減益の予測です。プラス要因は、主力商品玉葱種子の安定販売、安定した為替による利益確保、新商材の販売増加、マイナス要因は、一般管理費の増加、試験農場費用の増加です。

8. 飼料添加物（鶏用）

①2011年上期の回顧

売上げは、不変、利益は、減少でした。プラス要因は、新規顧客の開拓です。マイナス要因は、競合品との競争激化による販売価格低下です。

②2011年下期の展望

売上げは、不変、利益は、減少の予測です。プラス要因は、ありません。マイナス要因は、競合品との競争激化による販売価格の更なる低下です。

9. 接着剤

①2011年上期の回顧

売上げは、不変、利益は、減少でした。プラス要因は、欧米系自動車メーカーの生産販売台数が維持された事です。マイナス要因は、人件費等の経費の上昇と東日本大震災による日系自動車メーカーの休業です。

②2011年下期の展望

売上げ、利益ともに、不変の予測です。プラス要因は、社内の改善活動による効果が期待される事と経費削減、コストダウンです。マイナス要因は、原材料費の値上がりです。

10. 樹脂用着色剤

①2011年上期の回顧

増収、減益でした。プラス要因は、リアル高による原材料費の安定、マイナス要因は、競合他社との競争激化による顧客との値上げ交渉の困難さ、リアル高による輸入品増加による顧客への悪影響、高金利政策による顧客の在庫圧縮、新規開発品の停滞、そして経費全般のアップです。

②2011年下期の展望

減収、増益の予測です。プラス要因としては、人員削減、その他コストダウンによる経費の減少、上期在庫圧縮への反動、マイナス要因は、上期と同じく競争激化による値上げの難しさ、輸入品増加の悪影響、高金利政策です。

11. 架橋ポリオレフィン発泡体

①2011年上期の回顧

増収、増益でした。プラス要因は、製造コストの改善、ブラジル市場の需要拡大、新規事業の立ち上がりです。マイナス要因は、人件費のアップ、原材料のコストアップです。

②2011年下期の展望

増収、増益予測です。プラス要因は、営業拡大による売上げ増加、新規事業の拡大です。マイナス要因は、原材料コストのアップ傾向、人件費の高騰、レアル高による競合輸入品の増加です。

12. ロジン、テレピン油（生松脂）

①2011年上期の回顧

生松脂からロジン、テレピン油を製造、販売されていますが、増収、減益でした。プラス要因は、特にありませんが、マイナス要因は、原料価格の高騰に値上げが追いつかなかった事です。

②2011年下期の展望

減収、増益の予測です。プラス要因は、原料価格の下降傾向ですが、原料価格と製品価格の下降にタイムラグがあるため、減収、増益となります。マイナス要因は、特に指摘されていません。

13. 商社（化学品）

2 会員から回答を得ました。

①2011年上期の回顧

売上は、増収 1 回答、不変 1 回答、利益では、増益 1 回答、減益 1 回答の結果でした。プラス要因は、石油化学品を始めとして全般的に市況堅調、需要拡大です。マイナス要因としては、人件費の増加、レアル高による輸出不振、東日本大震災の為、日本の内需増加によるブラジルへの輸出減少です。

②2011年下期の展望

2 会員とも増収、増益回答です。プラス要因は、新規ビジネスの開拓、既存ビジネスの伸張、さらなる市況上昇と堅調な需要及び東日本大震災からの日本の回復です。マイナス要因は、ブラジルの内需加熱による輸出向け数量の減少です。

以上で、化学品部会からの報告を終わります。